

2025 年 6 月 12 日

CO2 排出量の見える化や脱炭素・ESG 経営を支援するスタートアップ

アスエネへ出資し、空調による脱炭素ソリューションをグローバルで加速

ダイキン工業株式会社は、このたび CO2 排出量の見える化や脱炭素・ESG 経営支援サービスを提供するスタートアップ企業、アスエネ株式会社（本社：東京都港区）の第三者割当増資を引き受け、同社に出資しました。協業を通じて、アスエネのサービスとダイキンの省エネ性の高い空調機器やエネルギー管理システムなどを組み合わせ、企業の脱炭素を支援する循環型ソリューションを北米および日本を中心とするグローバル市場に提供していきます。

気候変動対策がグローバルで加速する中、企業の非財務情報の開示に関する規制が強化されていることに加え、投資家や消費者の ESG への関心の高まりを受けて、企業はサプライチェーン全体の CO2 排出量を見える化し、削減に取り組むことが求められています。アスエネは、CO2 排出量を算定・見える化するクラウドサービスやサプライチェーンの ESG 評価サービスなどを提供し、非財務情報の開示や脱炭素の取り組み、ESG 経営に必要なとなる包括的なサービスと専門的なコンサルティングを国内外に展開しています。

ダイキンは戦略経営計画「FUSION25」の成長戦略テーマの 1 つとして「カーボンニュートラルへの挑戦」を掲げ、世界の電力の約 1 割を消費していると言われていた空調に起因する環境負荷の低減が重要と考え、高効率で省エネ性の高い空調機器を世界中に提供してきました。今回の出資と協業を通じて、CO2 排出量の見える化による現状把握から排出量削減のためのロードマップ策定、高効率な空調機器やエネルギー管理システムの導入などの省エネ施策の実行まで、一気通貫で実施することが可能となります。さらに、空調・建物の運用を継続的にモニタリングし、改善提案を行うなどライフサイクルを通じた循環型ソリューションを提供し、企業の脱炭素への貢献を加速していきます。

ダイキンは、新たな技術開発や高度なソリューション提供のため、2019 年 11 月にスタートアップ企業との協業を推進する組織「テクノロジー・イノベーションセンター CVC 室」を設立し、これまで国内外の 20 社以上に出資をしてきました。今後もグローバルで様々な分野の新たなパートナーと強固な関係を構築し、オープンイノベーションの取り組みを加速します。

会社名：アスエネ株式会社

代表者：西和田 浩平

所在地：東京都港区虎ノ門 1-10-5 KDX 虎ノ門一丁目ビル WeWork 4 階

設 立：2019 年 10 月

U R L：https://corp.asuene.com/

〔報道機関からのお問い合わせ〕

ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室

大阪（06）6147-9923／東京（03）3520-3100／E-mail: prg@daikin.co.jp